

今年の“つゆぞら”は、これまでと異なっていた感じですね。  
いつもなら、カラット 晴れた気持ち良い日が多かった記憶でしたが、“ジドット”した湿度の高い日々であつたようです。熊本地方の長引く地震や大雨等の被害を考えると、取るに足りないことかもしれませんが、……。



それにしても、スイカに関して感動している事が有ります。と言いますのは、小玉スイカです。甘さはもとより、皮の厚さはりんごにも負けない位の薄さで、もう少し小さい“小玉すいか”であれば、片手に持って、りんごのように皮をむいてお皿の上に……なんて事も可能な？ でも、“こだま”でも、やはりスイカですから、片手では無理ですね。一方、大玉でも回りの食べない部分が薄くなり、漬物にならないとか、ごみになる分が少なくて助かる等と言うことを耳にしております。それぞれの立場で一生懸命であることを知り、感服しております。



センセーショナルに届けられる医療に関する記事情報、特に治療をする、しないの議論は、かなり気になることであるので、其のうちいくつかを求めて読んでみました。つたない結論ですが、経済状況や天気予報等の統計とは異なり、疾患に関しては其の種類も含めて、更には患者さん個々の問題が有って、全てをひとつくりにしての議論は、無理であると言うことです。“一般的には”とか、“統計上……”と言う文言は、医療に関してはなじまない物であると思われます。

関心のある方は遠慮なくお聞き下さい。ご説明申し上げます。  
暑さ本番の毎日です。水分の補給等十分に気をつけて、乗り切りましょう。

平成 28 年 8 月 院長 清治 邦夫